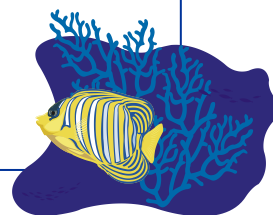


CNAC 海あそび安全講座 指導者養成セミナー 実施報告書



- 開催日 : 令和5年6月30日(金)~7月1日(土)
- 開催地 : 南房総市大房岬自然の家
- 主催 : NPO 法人 海に学ぶ体験活動協議会 (CNAC)



1. プログラム

「令和5年度 CNAC海あそび安全講座指導者養成セミナープログラム」

宿泊：南房総市大房岬自然の家

時間	項目・内容
令和5年6月30日(金)	
10:30	スタッフ集合・ミーティング
(10:30)	スタッフ現地確認・ミーティング
12:00	スタッフ昼食
12:40	受付開始
13:00	開会
	代表理事挨拶
	資料・スケジュール確認 注意事項説明
	施設利用説明
	オリエンテーション 講師紹介 自己紹介
13:15	今回の研修内容の趣旨説明
	海あそび安全講座の経緯
	海辺のリスクマネジメントの概要
13:50	安全講座のモデル講座
	海の楽しさと危険性 15分
	・紙芝居、安全冊子の使い方紹介KYT(危険予知訓練)
	落水したときの対処法 5分
14:30	着替え、海辺に移動
15:00	安全講座実技指導(実習) 90分 青枠:海中実習
	・説明、準備体操、集合写真
(15:10)	落水した時の対処法 40分
	・ういてまて(講義)
	一人で浮いてみる(実習)
	ペットボトルを使って浮いてみる(実習)
(15:30)	・いろいろな浮力体(講義)
	いろいろな浮力体を使って浮いてみる(実習)
(15:50)	落水者を発見したときの対処法 40分
	・ペットボトルレスキュー(講義)
	(実習)
(16:05)	・運搬法(講義)
	(実習)
17:00	セミナー会場に移動、入浴、着替え
18:00	夕食
19:00	実習部分を屋内で行う場合の工夫
	海洋実習の振り返りと補足 工夫点の確認等の意見交換
	ペットボトルレスキューにおけるロープワークの確認
	小学校での海あそび安全講座の開催について
20:10	質疑応答
20:30	1日目 終了
21:30	入浴
22:00	消灯
令和5年7月1日(土)	
7:30	朝食 片付け 荷物移動
9:00	海あそび安全講座のKYT(キケンくん探し)実習
10:15	海あそび安全講座の運営についてのマニュアル確認
10:45	海辺の体験活動におけるリスクマネジメント概論
11:25	参加者感想発表 修了証授与 アンケートのお願い(Googleフォーム)
12:00	セミナー終了 昼食(弁当)後、解散

2. 1日目（令和5年6月30日）



JR 富浦駅 外観



JR 富浦駅 ホーム名所案内 自然の家記載あり



大房岬自然の家 外観



部屋 ※12人部屋を3名で使用



現地確認



受付時 ※体温測定（非接触型体温計）



会場設営 ※6人掛け机を最大4名で使用



三好代表挨拶

1日目（令和5年6月30日）



三好代表講義



神保副代表講義



海中実習ブリーフィング



準備体操



支えて浮かぶ（講師）



支えて浮かぶ（実践）



ウエットスーツを着用



ウエットスーツの浮力を体験

1日目（令和5年6月30日）



浮力体の説明



ペットボトル



流木



クーラーボックス



ビニール袋



発泡スチロール



ランドセル



ランドセル（背負ったまま）

1日目（令和5年6月30日）



休憩タイム



ペットボトルレスキュー



要救助者を目指して海に投げます



陸地に引き上げます



レスキューチューブ



レスキューチューブで救助



海から戻って講義再開



ロープワーク

1日目（令和5年6月30日）



むずかしい...



受講者も先生に



海あそび安全講座の開催方法について



海あそび安全講座の開催方法について

1日目は、CNACの考える海あそびの概論、海あそび安全講座の進め方を学んだ後、落水時および落水者を発見した時の対処法を海で実習、実習の振り返り、安全講座の開催方法、紐の結び方を学びました。

学んだことをすぐに実践することにより、より深い理解に繋がっていきました。

2日目につづく。

3. 2日目（令和5年7月1日）



キケンくん探し実習（グループA）



キケンくん探し実習（グループB）



キケンくん探し実習 講評



キケンくん探し実習 講評



リスクマネジメントについて



修了証授与

2日目は、今後指導者として海あそび安全講座を開催していただくため、グループごとに実演し、受講者同士で評価をいたしました。話のつかみ、自己紹介の大切さ、海は楽しいことを伝えつつ危険性を教える、時間内に全て伝えきる工夫をする、など、大変実践的な内容でした。

また、海辺の体験活動におけるリスクマネジメントを学び、講座の主催者側が気を付けることを確認しました。

4. 受講者感想

- ・ 講師の説明が分かりやすかった。自分に知識があってもそれをいかに伝えていくかは重要で、そのために知識を深めていきたい。
- ・ 海でおぼれた時の救助方法について知識としては持っていたが、実践するのは初めてでとても勉強になった。
- ・ 講義を通じて知る事の大切さを再認識した。自然の危険を知りつつ楽しむ姿勢が必要と思う。
- ・ 海の様々な危険について知ることができたためになった。実地を通して学ぶことが大事である。
- ・ 伝える力を身につけていきたい。与える知識の取舍選択をする能力が大事であり、身につけたい。
- ・ セミナーの座学とフィールドのバランスが良かった。知識とリアルをリンクさせることが大事である。
- ・ 人に伝えるのは難しい。しっかりと使える力を身につけたい。周りの学生にセミナーで得た知識を広めたい。
- ・ 伝えるとき聞き手の興味をいかに引くことが必要と思う。プレゼンのとき他のメンバーのプレゼンの仕方が参考になった。

5. 総括

本セミナーは、昨年に引き続き、参加者の皆様、施設の皆様のご協力のもと、2日間を無事に終えることができました。

参加者の皆様におかれましては、本セミナーで学んだことを活かし、安全で安心な海あそびを広めていただきたいと思います。